

株式会社ライフケア

大阪府大阪市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

IT導入により、職場生産性の向上 従業員満足度向上による離職率低減

自立支援を目的とした地域密着型通所介護・整骨院・鍼灸院・訪問鍼灸あん摩マッサージなどリハビリとケアを通して地域包括ケアシステムに貢献することを目的に大阪市内で事業を展開。タブレット（ICT化）を用いた情報共有・ペーパーレス化、データのクラウド化など介護現場の生産性向上に努め自社で実践、他社にコンサルティングを行う。全国での講演は年間50回を超える。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 大阪市中央区谷町3-3-5 ai-dビル 13階 | ● 設立 | 2011年 |
| ● 電話/FAX | 06-6944-1506/06-6947-0107 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | https://www.ichiro-life-cae.jp/ | ● 従業員数 | 26人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 一谷 勇一郎 | | |



生産性向上

スタッフ同士・利用者との情報共有のスピードアップにより利用者満足も向上

介護現場ではスタッフとご家族との情報共有（バイタル、リハビリ・ケア内容、日常の様子など）がノートである事が多い。そのため情報量が少なくタイムリーにご家族に日々の情報を伝えるに難い。そこで日々の記録をデータ化する事で個人専用WEBで確認が出来る仕組みに改善した。WEBでは文字に加えて写真も共有するため情報量が飛躍的に増えた。また、遠方のご家族もWEBで日々の様子を確認して安心に繋がる。結果、満足度の向上により施設の稼働率は80%以上を維持している。（内要介護3以上の方が40%以上を占める）



タブレット活用による迅速な情報共有化を実現

タブレット導入によるペーパーレス化で、年間400時間以上の業務時間削減

2014年、月平均130時間（年間1551時間）の残業が発生した為にタブレット（ICT化）を導入。2015年には月平均残業時間が100時間（年間1296時間）を下回り始め、2016年には月平均55時間（年間666時間）となる。年間約600時間程の残業時間削減の中でICT化による削減効果は年間400時間に及ぶ。既存事業の規模拡大、新規事業へ挑戦など行いながら2018年度の残業時間はゼロに近い状態を維持。今後は視覚に障害がある従業員も3名在籍している為IoTを積極的に取り入れ職場の環境整備とサービスの向上に努め改善を続ける。



ペーパーレス化により残業時間をゼロ近くに。

生産性向上のメリットを職員の待遇に反映することで職員の定着率が向上

職員がタブレットを使用することを賃金へ反映させることで、IT・ICT導入が他産業に比べて著しく遅れている介護現場でもスムーズに導入する事が出来た。具体的には、諸手当を除く売上高人件費率が業界平均を下回った場合、その差額すべて従業員へ還元すると約束した。結果、導入開始から1ヶ月で全てのスタッフがタブレットを利用した情報共有、ペーパーレス化を実現。情報共有がICT化される事でコミュニケーション量が増加、意思疎通がスムーズになり離職が業界平均を大きく下回る。



全職員が迅速にタブレット利用を習得する仕組み。

サービス